

so enjoyable 



ただ立っているだけで
笑顔がこぼれる空間

庭の木を摘んで花びんにさす
ひとときは、この家に引っ越
して覚えた楽しみ。花びんを
カウンターに置けば、キッチン
からもリビングからも眺め
めます。

case 01

居心地も眺めも最高。 木のちからで 家族が笑顔になる家

福井県 / Tさん

ご夫妻と中学2年の長女、2歳の長男の4人暮らし。
結婚後、今回の引っ越しまではご主人の実家で2
世帯同居をしていましたが、子ども部屋のスペ
ースを確保するために家を建てることに。

info

[ハンドルネーム] chika.h.h

[URL] <https://roomclip.jp/myroom/5043090>

[施工] 株式会社建築事務所

Photo = Mitsuru Chiba Text = Satsuki Honjo



①カウンター前にはスツールが2脚。料理の合い間にひと休みしたり、荷物置きにも重宝。②リビングの延長のようなウッドデッキ。真冬は雪に埋まってしまうことも。③樹齢約40年のしだれ桜とツツジ。このあとハナミズキが咲き始めます。④キッチンから見たリビングと庭の眺め。



両親の喫茶店があった
場所に建てた家

以前はご主人の両親が営む喫茶店があった場所に、思い出を引き継ぐように家を建てたTさん夫妻。玄関脇のドアを入ると現れるのは、ゆったりとしたLDK。居心地のいい空間が広がります。

「家じゅうでいちばんお気に入り場所はキッチン」とTさん。ぜひ実現したかったという白いタイル壁の前に立つだけで、思わず笑顔がこぼれます。

「思っていた以上によかったのは、広めにしつらえたカウンター。料理がしやすいだけでなく、いつも花やグリーンを飾る習慣ができました。フラットなつくりで、作業をしながらリビングにいる家族の顔や、庭の景色が見えるところも気に入っています」

大きな窓の外には、しだれ桜やツツジの木が。特に花の季節は、いくら眺めていても見飽きません。「リビングは、家にいながらお花見ができる特等席。ウッドデッキにランチを持ち出してピクニック気分を味わうこともあります。この春はたっぷり楽しみました」。新居の完成は2019年暮れ。引っ越し後ほどなく訪れたおうち時間は、Tさん一家にとって新しい家に親しむ時間となりました。